

2020年 感覚器学コース耳鼻咽喉科試験 再現問題 (5月12日～6月5日)

1. 内耳解剖生理について、次の中から正しいものを選び。
 - a. 外リンパは低 Na^+ 高 K^+ である。
 - b. 骨迷路は蝸牛・三半規管からなる。
 - c. 膜迷路の上部は卵形嚢・三半規管からなる。
 - d. 蝸牛は3回転半である。
 - e. 蝸牛管内は外リンパが存在する。

2. 耳小骨連鎖の長さの差によるテコ比、鼓膜とアブミ骨の面積比によりどれだけ増強されて前庭窓に伝わるか次の中から選べ。
 - a. 2.5dB
 - b. 10dB
 - c. 25dB
 - d. 27.5dB
 - e. 30dB

3. 聴覚生理について次の中から正しいものを選び。
 - a. 基底板の固有振動は、低温は頂回転方向まで移行する。
 - b. 基底板が振動すると、METチャンネルが解放され内リンパ内の Na^+ が有毛細胞内に流入する。
 - c. 外有毛細胞は1列、内有毛細胞は3列ある。
 - d. 聴覚野は前頭葉に存在する。
 - e. インピーダンス整合により、30dB補っている。

4. 小児の急性中耳炎における起炎菌として最も多い組み合わせを選び。
 - (1) 黄色ブドウ球菌
 - (2) 緑膿菌
 - (3) 肺炎球菌
 - (4) インフルエンザ菌
 - (5) 溶連菌

a(1)(2) b(1)(5) c(2)(3) d(3)(4) e(4)(5)

5. 真珠腫性中耳炎の合併症として起こりやすいものはどれか。

- (1) 軟口蓋知覚鈍麻
- (2) 眼球運動障害
- (3) 耳介知覚鈍麻
- (4) 味覚障害
- (5) 平衡障害

a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

6. 感音障害を合併しやすい症候群はどれか。

- (1) ハント症候群 (Ramsay-Hunt)
- (2) ワーレンベルク症候群(Waadenburg)
- (3) ハンター症候群(Hunter)
- (4) シェーグレン症候群(Sjögren)
- (5) ペンドレット症候群(Pendred)

a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

8. 前庭器についての組み合わせで誤りはどれか。

- a. 半規管—クプラ
- b. 卵形嚢—直線加速度
- c. 耳石—炭酸カルシウム
- d. 内リンパ嚢—ストリオラ Striola
- e. 有毛細胞—動毛

9. 気導刺激による前庭誘発頸筋電位 (VEMP) の発生経路について、正しいのはどれか？

- a. 卵形嚢
- b. 球形嚢
- c. 蝸牛
- d. 外側半規管
- e. 外側前庭脊髓路

10. 眼振の特徴について次のうち正しいものを一つ選べ。

- a. フレンツェル眼鏡下では内耳末梢性めまいの眼振は抑制される。
- b. 頭位眼振検査にて定方向性垂直性眼振は内耳末梢性めまいに多い。
- c. 頭位変換眼振検査にて垂直性頭位眼振は内耳末梢性めまいに多い。
- d. 左右注視方向性眼振は大脳障害を疑う。
- e. 頭位眼振検査と頭位変換眼振検査は意義が同じである。

1 1. めまい患者が Walk-in で受診した。医師がまず行うべきこととして妥当なのはどれか。

- (1) 神経学的所見
- (2) 問診
- (3) MRI 検査
- (4) リハビリテーション指導
- (5) 投薬治療

a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

1 2. メニエール病の特徴的な所見に当てはまるものはどれか。

- (1) 高音障害型感音難聴
- (2) 48 時間続くめまい発作
- (3) リクルートメント陰性
- (4) グリセロール試験陽性
- (5) 蝸電図で -SP 増大

a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

1 3. 良性発作性頭位めまい症について正しい記載はどれか。

- a. 発症に男女差がない。
- b. 再発しにくい。
- c. 後半規管型の良性発作性頭位めまい症ではクプラ結石症が多い。
- d. 後半規管型結石症にはエプレー法 (Epley) が有効である。
- e. 良性発作性頭位めまい症の診断には聴力検査は有用である。

1 5. めまい発作が反復することが多い疾患はどれか。

- (1) 突発性難聴
- (2) 椎骨脳底動脈循環不全
- (3) 良性発作性頭位めまい症
- (4) 外リンパ瘻
- (5) ハント症候群

a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

16. 鼻副鼻腔解剖生理の説明で間違っているものはどれか。

- a. 嗅部では嗅覚をつかさどる。
- b. 呼吸部の組織像は多列線毛円柱上皮である。
- c. 鼻副鼻腔の線毛運動は後鼻孔方向に鼻漏を流すように働く。
- d. 鼻副鼻腔の動脈支配はすべて外頸動脈系である。
- e. 副鼻腔には、前頭洞、上顎洞、篩骨蜂巢、蝶形骨洞がある。

17. 鼻副鼻腔の神経についての説明で間違っているものはどれか。

- a. 三叉神経の2枝と3枝が分布している。
- b. 運動神経は存在しない。
- c. 交感神経の働きで鼻粘膜を縮小させる。
- d. 副交感神経の働きで水様性鼻漏を分泌する。
- e. アレルギー性鼻炎の手術療法として Vidian 神経切断術がある。

18. アレルギー性鼻炎の説明で間違っているものはどれか。

- a. くしゃみ、水様鼻漏、鼻閉が3主徴である。
- b. スギ花粉が抗原となり起こるものは季節性アレルギー鼻炎である。
- c. 診断ではI型アレルギーであることを証明する必要がある。
- d. 鼻粘膜は赤く腫脹する。
- e. 手術療法は無効である。

19. 鼻副鼻腔疾患の説明で間違っているものはどれか。

- a. 歯性上顎洞炎は一側性である。
- b. 副鼻腔炎による眼窩内腫瘍は緊急手術の適応である。
- c. 好酸球性副鼻腔炎は指定難病である。
- d. 寄生型真菌性副鼻腔炎は予後不良である。
- e. 嗅神経芽細胞腫は良性腫瘍である。

20. 咽頭の解剖生理について誤っているものを1つ選べ。

- a. 咽頭には、リンパ組織が輪状に存在し、Waldeyer 咽頭輪を形成する。
- b. 咽頭の運動・感覚は、舌咽神経・迷走神経支配である。
- c. 咽頭の蠕動様運動コントロールは、迷走神経を介した延髄で行われている。
- d. 口から入った食物は、上咽頭、中咽頭、下咽頭の順に通過し、食道に達する。

2 1. 咽喉頭の解剖生理について正しいものを1つ選べ。

- a. 喉頭は中咽頭の腹側に位置する。
- b. 声帯の開閉運動は、迷走神経の分枝である反回神経が支配する。
- c. 上喉頭神経内枝は喉頭の運動を支配し、上喉頭神経外枝は喉頭周囲の感覚を支配する。
- d. 外喉頭筋は、主に咽頭収縮作用に関係する。

2 2. 扁桃について正しいものを選べ。

- a. 扁桃肥大は5-6歳、アデノイド増殖症は8-10歳でピークに達して、以後は縮小する。
- b. アデノイド増殖症は、扁桃炎の原因となる。
- c. 急性扁桃炎では、高熱が出ることはまれである。
- d. 伝染性単核球症は、ヒトパピローマウイルスが原因で高齢者に好発する。
- e. 扁桃の慢性炎症が、関節リウマチやIgA腎症の原因となる。

2 3. 睡眠時無呼吸について正しいものを選べ。

- a. 睡眠中に、1時間当たり5秒間の無呼吸が20回認められる場合、睡眠時無呼吸症候群の診断となる。
- b. 睡眠時無呼吸症候群の合併症として、成人では高血圧や糖尿病、小児では夜尿症や学力低下が挙げられる。
- c. 重度の睡眠時無呼吸症候群に対しては、まず外科的治療が選択される。
- d. 口腔底での唾液貯留は、嚥下障害を示唆する所見である。
- e. 嚥下障害の治療として喉頭挙上術を行うと、発声機能が失われる。

2 4. 喉頭疾患について誤っているものを選べ。

- a. 仮性クループは声門下喉頭炎ともいわれる。
- b. 急性喉頭蓋炎は、窒息する危険がある。
- c. 声帯麻痺の原因として、迷走神経麻痺が挙げられる。
- d. 喫煙は喉頭がんのリスク因子ではあるが、ポリープ様声帯のリスク因子とはならない。
- e. 声帯ポリープの原因は声の酷使である。

2 8. 喉頭癌の治療について正しい組み合わせを一つ選べ。

- (1) 上咽頭癌の標準治療は化学放射線療法である。
 - (2) 中咽頭癌の進行癌では手術が第1選択となる。
 - (3) 中咽頭癌ではHPVウイルス治療を行う。
 - (4) 下咽頭癌では化学放射線療法の効果は低い。
 - (5) 下咽頭癌手術では喉頭とともに切除する。
- a (1)(2) b (1)(5) c (2)(3) d (3)(4) e (4)(5)

29. 植皮の生着する部位を選びなさい。

- a. 軟骨
- b. 骨皮質
- c. 脂肪
- d. 腱

30. 上顎癌切除後の再建において誤っているものを選びなさい。

- a. 口蓋を閉鎖すると構音・摂食機能が再建される。
- b. 顔面形態を再建する。
- c. よく使用される皮弁は前腕皮弁である。
- d. 拡大上顎全摘では眼球が切除される。
- e. 骨や軟骨を再建材料に使用することもある。

31. 舌癌切除後の再建において誤っているものを選びなさい。

- a. pull through という方法で切除される
- b. 広背筋皮弁が頻用される
- c. 嚥下機能の再建が目的の一つである
- d. 下顎骨も合併切除することがある
- e. 構音機能の再建が目的の一つである

32. 下顎再建において誤っているものを選びなさい。

- a. 下顎再建を行わないと顔面形態は損なわれる
- b. 下顎再建の目的は、咀嚼、摂食機能の再建である
- c. 再建材料には腓骨が頻用される
- d. 金属プレートは使用しない

33. 下顎癌切除後の再建において正しいものを選びなさい。

- a. 咽頭喉頭頸部食道摘出術が標準術式である
- b. 咽頭喉頭頸部食道摘出術を行うと発声できない
- c. 咽頭喉頭頸部食道摘出術を行っても肩までお風呂につかれる
- d. 再建を行っても経口摂取はできない
- e. 再建材料は腹直筋皮弁が多い

Microsoft Teams にあがっている講義動画を見て、期限までの好きな時に Aims 上で試験を受ける形式でした。昨年までと問題傾向が変わり、試験自体は難しくなりましたと思います。個人的にはこのままオンライン授業形式が定着するといいなと思っています。